

手と手のうた

かあさんの手の中に
すっぽり入る わたしの手
しっかりとぎって

ね かあさん

かあさんの手に包(つつ)まれ
すてきに嬉(うれ)しい わたしの手
手と手でお話

ね かあさん

かあさんの手のあったかさ
すっかりもろう わたしの手
ずっとそのまま

ね かあさん

著 宮中雲子